33. 再誕生／瞬間から瞬間へ Rebirth/Mome Moment

あなた自身の感じていることが完全に正しいとされていて――しかもあなたが、自分はまったく正しい！と感じる――そのような状況においてすら、それでもなお、これまでにあなたが知ってきたあらゆることを

仏陀が光明を得て、最初にしたことは、自分の家族のもとに帰ることだった。そうすることで、彼になにが起こったかを彼らが知ることができるように……。そして、以前自分が愛していたそれらすべての人びとを彼が

だが彼の妻、ヤショダーラは、非常に怒っていた。それもまた自然で、人間的だ。ある夜、この人は、行くということを告げることすらせずに、突然逃げ出した……。その傷は深かった。そして、あなたは驚くだろうが

そして彼が着いたとき、突然、彼女は怒っていた。彼女の怒りは爆発した。彼女は言った。「なぜあなたは私に言わなかったの？
私はあなたを妨げはしなかったでしょう。それに、あなたは私を知っているではありませんか――ほんとうによく知ってい
るのに。私たちは何年もいっしょに暮らしたのよ。私が一度でも、なにかのことであなたの邪魔をしたことがあったでしょうか？
私はあなたをとても深く、とても広く愛していました……私があなたの探究の妨げになることはななかったでしょう。なぜ
あなたは私に言ってくださらなかったのですか？」
彼女は何度も何度も彼にたずねた。それから怒って、息子を呼んだ。仏陀が去ったとき、その子は生後一ヶ月にすぎなかった。
いまでは彼は十二歳で、絶えずたずねていた。「私の父はどこにいるのですか？私の父は誰なのですか？」
彼女はその少年を呼んで言った。「ラーフラ、この人があなたの父親です。彼は臆病者のように逃げたのです。この人があな
たに生を与えたのです。さあ、財産を譲ってもらいなさい！」
彼女はあざけって挑発していた。仏陀はいまや乞食だったからだ――どんな財産を？彼はいったいなにを得たのだろう？
……。

そして仏陀はどうしたか、あなたはわかるかね？彼はその子をサニヤスにイニシエートした。彼は、その子に自分の乞食用の鉢を与えて言った。「私はほんとうはこのために来たのだよ。私は見い出した。そして私の息子
私は死んで、再び生まれている。私はお前の激しい怒りを理解することはできるが、あの夜にお前を置き去りにしたその男はもういない。もう一度私をみてごらん！」

目は涙でいっぱいになっていたが、彼女は見た……そして認めた。彼女の怒りはすべて消えた。彼女は仏陀の足もとにひれ伏した。イニシエーションを求め、彼のサニヤシンになった。
THE PERFECT MASTER, Vol.2, pp.208-210
THE BOOK OF THE SECRETS, Vol.5, pp197-200

Revision #3
Created 5 October 2024 07:57:55 by ゆう
Updated 6 October 2024 00:33:49 by ゆう